

CS650/CS655



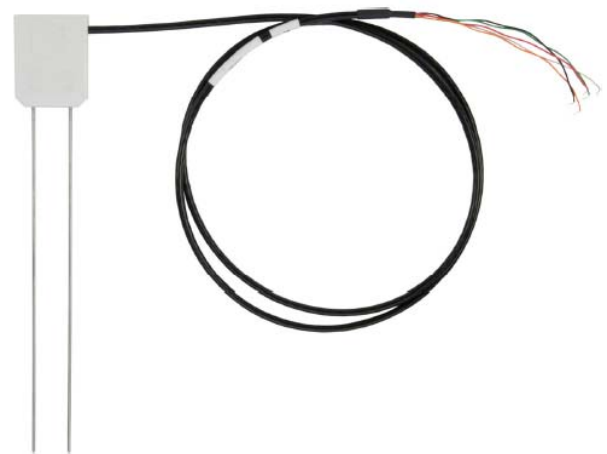
土壌センサー

キャンベル社 CS650/CS655 は土壌水分の他に電気伝導度（EC 値）や土壌温度も計測可能なセンサーです。

土壌水分の測定には TDR の原理を使用しています。センサー基部より CS650 は 30cm、CS655 は 12cm のロッドに向けて発振される電磁波の間隔が土壌の湿り具合により変化します。その発振間隔に補正式を与えて土壌水分を求めています。

電気伝導度は電磁波の減衰を計測し、補正式により計算しています。

土壌温度はエポキシベース内でステンレスロッドの 1 本と接触しているサーミスタで計測しています。



CS650

主な特徴 / 機能

- ・ 土壌水分、電気伝導度(EC 値)、土壌温度の測定
- ・ SDI-12 または RS232 出力
(RS232 を使用する場合、別売の A200 インターフェイスが必要です)

A200 を使用して PC と接続することにより、センサーの OS を更新することが可能です。

硬い土壌に使用する場合は、別売のガイドツール（CS650G）の使用をお勧めします。ガイドツールは CS650/CS655 のロッドと同じ長さ、同じ幅になっています。

複数本を同時に使用する場合、23cm 以上の間隔が空くように設置して測定を行います。



ガイドツール（CS650G）

仕様

		CS650	CS655
ロッド長		30cm	12cm
センサー出力		SDI-12 または RS232(別売の A200 が必要)	
計測時間		3ms(SDI-12 コマンドを完了するには 600ms)	
電源電圧		6VDC~18VDC	
消費電流 @12VDC	計測時	45mA	
	静止時	135 μ A	
測定範囲	電気伝導度 (バルク土壌)	0~3dS/m	0~8dS/m
	土壌水分	5~50%	
	土壌温度	-10~+70°C	
精度	電気伝導度	$\pm 5\%$ または 0.05dS/m	
	土壌水分	$\pm 3\%$ (EC 3dS/m 以下)	
	土壌温度	$\pm 0.5^\circ\text{C}$	
使用環境温度		-10~+70°C	
ケーブル長		同じコントロールポートに繋ぐ場合、 10 センサーで合計最大 610m	
寸法	本体	85×63×18mm	
	ロッド	$\phi 3.2 \times 300\text{mm}$ (ロッド間隔 32mm)	$\phi 3.2 \times 120\text{mm}$ (ロッド間隔 32mm)
重量	本体	280g	240g
	ケーブル	35g / 1m	

Campbell Scientific, Inc.

太陽計器株式会社



日本総代理店

<http://www.taiyokeiki.co.jp/>〒114-0032 東京都北区中十条 1-12-3 Tel 03(5963)5361/Fax 03(5963)5362 E-mail: campbell@taiyokeiki.co.jp